

一般財団法人 岐阜市にぎわいまち公社
平成26年度 業務報告書
(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

1 まちづくり活動支援事業

地域住民の主体的なまちづくり活動の推進を図るため、活動の支援・育成を主な目的として以下の業務を行った。

(1) 景観まちづくり活動支援業務

まちなかの再生や個性ある魅力的なまちなみの形成を目指し、また、景観整備機構として岐阜市景観基本計画に基づき各種の事業を行った。

① 景観まちづくり活動の支援及び育成に関すること

ア まちづくり組織へのアドバイザーの派遣業務

地域のまちづくり活動に取り組む団体に対し、アドバイザーを派遣しまちづくりに関する助言や相談を行った。各種専門家のアドバイザーを25名登録。

○問屋町西部北街区再開発研究会 5回

○高島屋南市街地再開発組合 1回

イ まちづくり相談業務

まちづくり活動団体や地域のまちづくり・景観形成に携わる個人からの相談・依頼等へ適切に対応し、団体活動へ参加して情報提供や意見交換、相談等を行った。

<主な活動参加団体>

景観形成市民団体6(鶉飼屋・美殿町・川原町・伊奈波・加納・井の口)

ぎふまちづくりセンター、長良川おんぱくなど

② 景観まちづくりの推進、啓発及び情報の提供に関すること

ア パンフレット等まちづくり啓発資料の提供

広報誌やホームページ等を活用し、まちづくりに関わる情報を発信し啓発に努めた。

○「にぎわいまち公社だより」の発行 — 第38～41号を各1500部作成し配布。

イ まちづくり事業に関すること

市民が、地域に存在する魅力あるヒト・モノ・コトに触れ、知識を得て、理解を深めることで、自分の地域のまちづくりを進めていけるよう次の事業を行った。

○まちづくりリーダー養成講座の実施

「ぎふまちづくりコーディネーター養成講座～つなぐ人カレッジ2014～」として、わかりやすい講義と実践的な実習(グループワーク等)を通して、コーディネーターとして必要な役割や技術を基礎から学ぶ講座を全4回実施した。

○僕と私の岐阜まちづくり事業の実施(「第10回わがまち探検マップコンクール」)

テーマ:「見つけよう! あなたのまちのあんなこと こんなこと」

募集内容:小・中学生が住んでいるまちの絵地図

目的：小・中学生が自分のまちを見て、まちを知り、まちを絵地図で表現することで、自分がまちの一員であるという意識を抱くきっかけづくり。

応募総数58件、一次審査、公開審査、一般投票により各賞を決定した。

ウ まちづくりの情報の提供に関すること

○「にぎわいまちサロン」及び「まちづくりライブラリー」の開設と管理
・出張まちづくりライブラリーの開催

○ラジオ放送等による情報の発信、フェイスブックによる交流の場の提供

③ 景観まちづくりの調査研究に関すること

ア 他都市事例等まちづくりに関する資料収集に関すること

歴史的なまちなみの保存・活用など景観まちづくりの事例や手法、先進都市の取り組みについて、現地調査も行いながら岐阜市での活用について検討した。

・新潟市、村上市、飯田市、宇治市

イ まちづくり事業の制度・手法の調査研究に関すること

・都市づくり景観行政講習会に参加

・清流の国ぎふ景観シンポジウムに参加

・ファシリテーション入門講座に参加

・リノベーションスクール@和歌山市に参加

ウ 中山道沿道景観調査を実施

厚見及び長森南地区の建造物の現状を調査した。

④ ぎふ景観まちづくりファンドに関すること

目的：歴史的景観の形成に係る民間のまちづくり事業に対して助成を行い、市民の景観形成に対する意識と歴史的景観を守り育て、岐阜ならではの個性豊かな美しいまちなみを後世に継承していくこと。

事業承諾：5件、助成：2件（25年度までに承諾し、26年度完成の事業を含む。）

啓発事業：パンフレットの作成、広報紙やホームページ、タウン誌などによるPR
鵜飼屋地区の町屋などの基礎調査

⑤ その他まちづくりに関すること

ぎふ景観まちづくりファンド、川原町まちづくり会、美殿町「まちでつくるビル」などに関する国や県、市、団体からの視察を通じて、公社のまちづくりに関する活動や景観形成に関する活動などをPRした。

(2) まちなか歩き回廊推進業務

「岐阜市まちなか歩き構想」に基づき、歴史ある岐阜の魅力に接し、心の豊かさが感じられる空間の「まちなか歩き回廊」や「スマートウエルネスぎふ」の実現及び広域にわたるまちなか歩き・まちなか観光の推進を主目的に事業を実施した。

① 御鯨街道でのウォーキングイベントに関すること

江戸時代に将軍家へ献上される鮎鮓が運ばれた「御鯨街道」に対する市民の関心を高めるため、当時の献上行列を模して歩く「御鯨街道市民ウォーク」の実行委員会の活動を支援した。

② ぎふ・いざナビ、路面標示を活用したウォーキングイベントに関すること

「まちなか歩き」の推進のため、路面標示等の支援ツールを活用し、岐阜の地に溶け込む様々な歴史文化に係る施設などを歩いて巡る「まちなか歴史クイズウォーク」を開催した。

③ まちなか歩き構想に関する調査

「まちなか歩き構想」の成果を検討するため、対象地域である長良川右岸地区・金華地区・加納地区の歩行者交通量調査を実施した。

(3) 岐阜公園総合案内所運營業務

岐阜市民や岐阜市を訪れた人が、岐阜の歴史や文化等を感じながら「まちなか歩き」を楽しむことができるよう、専門的な知識を有する職員が情報発信や案内を行った。

さらに、来園者の方々に「合渡ふるさと太鼓」、岐阜レゾナンス吹奏楽団による「クリスマスコンサート」のイベントを開催した。

2 中心市街地活性化事業

平成18年に岐阜市から『中心市街地整備推進機構』の指定を受けて以来、中心市街地の都市機能の増進を図るとともに、「中心市街地活性化協議会」の構成員として「2期 岐阜市中心市街地活性化基本計画」に基づく各種事業を推進した。

(1) 中心市街地活性化推進業務

① 中心市街地建替え促進事業

新規出店やまちなか居住の受け皿となる空間の創出に向け、主に建物所有者に対して利活用に関する情報提供や意向調査、勉強会等を実施した。

② まちの魅力PR事業

岐阜の歴史・文化・文学や柳ヶ瀬などまちの魅力を伝え、“にぎわいの創出”と“まちの回遊性”を推進するため、中心市街地で下記の事業を実施した。

ア たなばたまつり 2014 in やながせ — 園児等が作った七夕飾りを店先に飾る

イ 岐阜まち物語 第9幕 — 歌、お話、紙芝居などで魅力を伝える

ウ クリスマスカざり 2014 in やながせ — 園児等が作った作品を店先に飾る

③ 柳ヶ瀬プロデュース事業

商店街が中心となり実施している活性化の取り組み等に対して、助言・サポートを実施した。また、柳ヶ瀬が華やかで活気を呈した時代の写真を展示する『柳ヶ瀬まちなか写真館』の展示及び維持管理等を行った。

(2) 柳ヶ瀬にぎわい創出事業 — 『柳ヶ瀬商店街探検隊』の実施

小学3年生が商店街について学習する社会見学プログラムを商店街と協力して提供した。子ども達がインタビューや体験を通じて柳ヶ瀬地区と個店の魅力や特徴を理解し、本人だけでなく家族や友人などへと繋がる柳ヶ瀬ファンづくりを推進した。

○34校（内1校は市外）約2,100人が社会見学プログラムを体験

(3) 柳ヶ瀬あい愛ステーションの運営（情報発信拠点運營業務）

柳ヶ瀬の空き店舗を活用し、まちなかの情報発信・交流拠点・公益的機能を持った

まちなか拠点として平成20年に開設して以来、継続した企画・運営を行った。

ラジオ放送（週1回）や柳ヶ瀬地域の店舗やイベント情報などを発信し、まちなかギャラリーや集会などの交流の拠点として、また多目的トイレや授乳室のサービスを提供するなど、まちのコンシェルジュとしてまちの活性化とにぎわいの創出に努めた。

(4) レンタサイクル管理業務

スローライフのまちづくりの理念の下、市民や本市を訪れた皆さんが自転車を近距離交通の手段として利用することで、市民の健康増進、街のにぎわい及び観光の促進を図ることを目的として、レンタサイクルポートの管理運営業務を行った。

平成26年8月より電動アシスト自転車のレンタルを開始した。

(5) 岐阜市中心市街地にぎわい創出事業（補助事業）

中長期的な視点で岐阜駅周辺や柳ヶ瀬周辺などの中心市街地各所において連続的、継続的にイベントが開催される環境を整え、回遊性の向上を目指すことで中心市街地におけるにぎわいを創出することを目的とし、本年度は活動団体、公共空間、先進事例の調査及び分析を行った。

(6) 中心市街地都市開発まちづくり支援業務事業

玉宮地区に点在する空き家や駐車場などの低未利用地を、区画整理手法により集約し、都市機能施設・まちなか居住の建築物などを建設するため各種の活動を支援する。

平成26年度は、建築物の共同化事業の検討候補地区を定めるため、まちなか再生協議会及び地権者勉強会の開催、個別説明及び相談者対応等の活動を支援するとともに、それぞれの課題を整理し今後の活用を図った。

3 駐車場指定管理等事業

岐阜市駅西駐車場623台及び岐阜シティ・タワー43地下駐車場56台の指定管理者として、公社の定めた「運営管理の基本方針」に基づき、『利便性があり、安全で安心でき、防災に強い駐車場』を目指し、公平・公正なサービスを提供した。

また、岐阜駅北口の団体バス乗降場の緊急故障等に対応した。